霧芝

五編

霍芝

有賀の山家ハ雨に寒し
葉ずゑの中ハ星路入る
ほそきに降りしも抱く火桶哉　松兄
田や畑や山のあり所　卓池
雪国の雪板雨
多窮時て板ハ乾しとあいぬる　士朗

東洋文庫

時雨松仏をもてなす　雪園

いつとても山もたのもしよきさくら一之

うの枝に早瀬のかゝる　朝日の東　伯先

尾花の嶋をけ過る山かぜ　ほゝの手

旅り人の結ぶ草むしろ　ちれとして

海中にて花海堂なつまつ　すゝ中梨

道すがらを佛いうまの鈴ぬひ　花　士朗

生ることすくふ世俗を仙角　松兄

田切川は水しゐ一場を鶯ハ

小田枯るゝ舟あゝ八郎ハ家ハ　花叔

ほとゝぎす次第やはれ　山皐

青葉ゆゝし藤木の上は　迦蘭

此二句春雨亭子庵にて

馬瓜の原

三　桐子さと

宮ま松兄皐地の句ありさうなれハ

略き

若き人〳〵八幡の祝の宴にまゐるを一齋ふ
枝をやり過さぬ程にまゐれ　又
さゝるゝ程しるしみぬきれ　士朗
ら保ハせぬ枝明〳〵　雲ハ殘りやすも　尼桐　巨柿
時雨ひし

遠望山寺

庭掃ふ木ゝよしと閑居　阜池
閑拓ゝ自然やゝ　松兄

引矢ゝ澤ハ飯田ゝ一里余下
かゝあゝゝまてゝ出て

雲霧ゝ頃ゝ川やゝ　蕉雨
山路ゝて見るゝあゝく家柴ゝ　崇兆
花人と家ゝあゝる所閑居　岳軒
麦ゝゝや五もゝ物　春戸　李二
田植して朝ゝ保ゝ　星巴

○有賀子詩よりとゝのへられし日記ハ花叟の
筆ゆかゝ川一とりて白紙の何とも言へる
人なし許より奇しき一言御由

○巣北浴ハ馬田川より夜を分ちて出なの
芸よいちもやくおハしたる

○岳輪上人ハ馬ヨ藪京て吉里ニ伺せんとて
尾張の国より三河さもりを京ヨ来らぬる

菓子の月ニ月雲発

させども雪ハ鶯人ニ
おそきさいとい春ニ山ヲ
賞の嘆ハ思ひ出ちるを
ゆく鶯ハ

和月九日　八巣主人

四月十一日

大久保ふ堂ふ國中ふ所ふ[illegible]きふ[illegible]者ふて
人も年ふれ初しふ[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]ふ歳ふ
はふふ書付て

風號ふ時雨をはこへほとときす　士朗
といへば
比岩ふ人も年ふ[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]ふ[illegible]ふ　松兄

又

菜摘ふかふるふふふふふ匂ひふ　壺伯

古きふふふふふふふふふふふふふふふて
其原や何ふふふて苔ふ苔　士朗
伏屋ふ殘るふふふふふふ秋の月　蕉雨
年寄ふめて後世のふ初ふ事　岳輅
抱へてふる七巻ふふ紬　卓池
世ふ中ふ梅乃匂ひふ成ふ[illegible]ふ　松兄
ほふふふふふふふふ春雨ふ降ふる　壺伯

家ゐとハらふこそおもへ　九詰

いさ踏まやと　姫子宮　朗

笹子紫ふ著の雫哉　両

雪とかそへつる君ハ見跡　輪

年の内に春ハ来ぬと馬子上　巣兆

いろ名残ステん福京子さと　兄

白露の巣ハたくやに月おて　池

雲ハ青く落るもの　秋　詰

古ひとと住る捨る露子庵　伯

湖水のおもてちるもなく　北

蕎麦哉踏ハまんふ朝ぼらけ　朗

蛙つるかす一ハらしたやう　両

京京紫薪子雑ふくるほりて　輪

母子機嫌哉こうる蛙ゆく　池

篠子るをあすふこそ梅ゆり　兄

古ひ子蚊のいくしと　伯

有明の東の空に消えて
小萩ゝもしをれたる引ゝて　語
這ふ蟲の水に自ら萱ゝ　朗
定ゝ知世ゝ　くるゝ野　雨
風ゝ吹　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　幹
待のゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　兄
大德寺まで　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　池
ゆふ立ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　伯
魚ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　語

水ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　北
雲ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　雨
桜を袖ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　朗
ちらゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　兄
をかゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　幹

飯田百貞集　巻以

十日あって又も一雨降りたる
こゝ〳〵釈の根よりあてる野山ぶ　土朗
　　岳軒

大空よりまのひとつ雨降りたる
お山ぶ雨よりや晴れんほとゝきす　春舟
低く月かけさびやほとゝきす　梅江
こゝ〳〵釈や徒ぶりの水泡　九鶴
　　蛙村

をかゝるも淋しくも有かな佐賀と　除茂

朔日こゝ路の月ぶをかゝしく藤ぶこゝ葉の
おもゝけるもなかゝ神ぶる

初夏ハ注ぶる月やかゝるすかゝ青女
馬ぶる乃乃繁のひる早苗ぶ　撫軍
岡崎の橋より長き四月ゝ雨　凡室
竹を木もなくて涼しや月ぶ雪　水三
まゝ〳〵さに釈の首出す島ぶ　尤語

海辺

風雑や馬より分けも蕨なる　松兄

風ふく八人の知者る山みな名ある

風雑より巻ふくかぬ蕨山　壷伯

吹あらしといふ所まで

嘗ハ吹あらさ知てをやこし　士朗

山よりなりけてきくやほとゝぎす　卓池

一の潮

一の潮ハ水鶏も鳴ぬ四月ぶ　花叔

燕子巣作る山路の四月ぶ　三都良

大平子山中

嘗や山ほとゝぎす閑居哉　士朗

と聞て国子人くふ分れる

分理て子後のたゝやゝ梶の葉　岳輪

夏知ら吸梶の内ゝ月白人もと　蕉雨

霞芝集大尾

於六巢賀之

梁兆英親

享和元辛酉年四月

[illegible]